

東北学院震災復興対策委員会（第2回）次第

日時：平成23年4月6日（水）13：00

場所：土樋キャンパス1号館6階会議室

委員：平河内理事長（委員長）・星宮学院長（副委員長）宮城総務担当常任理事（17名）

関谷財務担当常任理事・柴田人事担当常任理事・高橋法人事務局長・斎藤学務担当副学長
高木法学部長・永井中学校・高等学校長・久能榴ヶ岡高等学校長・日野総務部長・高橋財務部長・佐々木施設部長・佐藤庶務部長・斎藤庶務課長・若生人事課長・駒板財務課長

黙祷

委員長 平河内 健治

協議事項

- 1、前回議事録確認
- 2、3月11日(金)地震の名称「東日本大震災」に統一する。
- 3、東日本大震災に伴う施設・設備復旧協力業者一覧・・・・・・・・・・1p
- 4、施設・設備復旧工事工程予定表（中学校・高等学校、幼稚園を除く）・・・・2p～5p
- 5、組合に対する提示
 - ①「合意書」の解約について・・・・・・・・・・6p
 - ②「休日の変更」について・・・・・・・・・・7p
 - 協定書（参考）・・・・・・・・・・8p
 - ③「学会出張に係る旅費等」について・・・・・・・・・・9p
 - ④「東日本大震災」に伴う教職員の手当等の取り扱いについて・・・・・・・・10p
- 6、東日本大震災に伴う東北学院特別住宅資金貸付規程（案）・・・・11p～12p
- 7、授業開始に伴う交通手段について（仙石線：塩釜以東）
- 8、榴ヶ岡高等学校における東日本大震災に向けた基本方針
- 9、東北学院復興支援金の募集について
- 10、東北学院大学職員の学生指導に係わる支出並びに学生への補助金支出に関する取扱い基準

第1回 東北学院震災復興対策委員会議事録

日時：平成23年3月30日（水） 14:35～16:10

場所：1号館6階会議室

出席委員：平河内健治 星宮 望 宮城光信 関谷 登 柴田良孝 齋藤 誠 高木龍一郎
久能隆博 永井英司 高橋清昭 佐藤範明 高橋秀悦 日野 哲 佐々木文彦
斎藤英夫 若生克義 駒板高明 以上17名

協議事項

1. 東北学院震災復興対策委員会目的
2. 対策委員会名簿
3. 対策委員会日程
4. 東北関東大震災：学生納付金等の納入に関する本学の対応
5. 東北関東大震災から復興に向けた基本方針
6. 東北関東大震災：平成23年度予算執行に関する基本方針
7. 「特定公益法人に関する証明書」の申請に係る寄付金募集要項

以上の協議事項については、平成23年3月30日開催の第29回常務理事会にて承認済のため協議は行わない。また、本委員会での審議、決定事項は常務理事会の議題とするが、構成メンバーが同一であることから改めて審議することはしないことが了承された。

8. 平成23年度予算の削減・凍結と（暫定）補正予算の編成について（理事長）
9. 平成23年度予算の削減・凍結と（暫定）補正予算の編成について（大学長）

8と9について 説明：高橋財務部長 先ほどの常務理事会で承認された、基本方針に基づき作成されたもので、資料1ページは理事長名で法人全体に周知する。大学にあっては教員には文書をメールボックスに入れることで、職員には課長会を通じておこなう。さらに大学部門にあっては、学長名で資料2ページの文書にてもお願いすることで承認された。

10. 平成23年度予算削減・凍結額の提示について

〔参考 教員各位（大学長・財務部長） 職員各位（大学長・財務部長）〕

説明：高橋財務部長 予算単位責任者には資料1・2ページとともに、具体策のお願いとして同文書（資料3ページ）も配付する。削減・凍結額は本年度予算示達額の10%以上、示達額が2,000万円を超える予算単位は20%以上とする。なお、削減の参考に教員、職員別の資料を4ページ、5ページに用意した。記以下の対応については「今年度は」と明記する。

なお、具体的には次のとおりとすることが承認された。

- ①個人研究費は22万円とする。
- ②学会（研究会）及び資料収集の旅費については15万円を、学会（研究会発表）の旅費は5万円を上限とする。
- ③大学院担当教員の教員個人選書分の凍結については、法務研究については除くこととする。
- ④リースの取替更新凍結は今年度リース切れのものについては再リース（1年間）とする。
- ⑤給与明細の郵送を廃止し財務課にて受け渡すこととする。
- ⑥学内開催の講演会、シンポジウムでの謝金はすべて廃止する。
- ⑦私大連同様年会費等を支払っている組織に対し、減免等の働きかけを行う。
- ⑧中高、榴ヶ岡高等学校については財務課と協議のうえ進める。

11. 震災復興対策費算出シミュレーション（法人）

12. 震災復興対策費算出シミュレーション（大学）

11と12について 説明：高橋財務部長 平成23年度は学生支援経費として約2億3千万円、施設設備関係支出として約10億円が必要となるが、これらの資金を創成するために、

①平成23年度は物件費と施設関係経費の合計が2千万円を超える予算単位は、一律20%を減じる。

②平成23年度は物件費と施設関係経費の合計が2千万円未満の予算単位の場合10%を減じる。

③施設課の工事・修繕に係る費用は全てを凍結する。

以上のことから、法人部門で、5千2百万円を、大学部門で11億3千2百万円、合計約12億円を捻出するとしたシミュレーションが資料6・7ページとなる。8・9ページは予算の削減をする際の提出資料 審議後、以上の計画について承認された。

13. 被災教職員に対する経済的支援措置

説明：佐藤庶務部長 被災した専任教職員に対しての経済的支援について、無利子で500万円を上限に貸し付ける内容で詳細を検討していくことが報告され了承された。

キャンパスエリア		工種	建築	電気	設備	外構
土樋ブロック	土樋キャンパス		竹中工務店(分離)	東光電気工事(分離)	三機工業(分離) 東洋熱工業(空調工事の一部)	竹中工務店(分離)
	総合研究棟		清水建設(分離)	東光電気工事(分離)	三機工業(分離)	
泉ブロック	泉キャンパス		銭高組(統括)	ユアテック	新菱冷熱工業	NIPPOコーポレーション(分離)
	女子寄宿舎		銭高組(分離)	東光電気工事(分離)	東洋熱工業(分離)	
	男子寄宿舎(内部)		銭高組(分離)			
	”(外部:煙突・渡り廊下)		竹中工務店(分離)			
	榴ヶ岡高等学校		銭高組(分離)	ユアテック(分離)	三機工業(分離)	
	各種グラウンド					長谷川体育施設(分離)
多賀城ブロック	多賀城キャンパス		大林組(統括)	ユアテック	東洋熱工業	大林組
	旭ヶ丘寄宿舎		大林組(統括)	ユアテック	東洋熱工業	大林組
	ハイテクセンター バイオリサーチセンター		竹中工務店(統括)	ユアテック	東洋熱工業	竹中工務店
	幼稚園		大林組(統括)	ユアテック	ユアテック	長谷川体育施設(分離)
	各種グラウンド					長谷川体育施設(分離)
小鶴ブロック	中学・高等学校		前田建設(分離)	ユアテック	新菱冷熱工業(分離)+ 東洋熱工業(分離)	エリアA:西松建設(分離)
						エリアB:NIPPOコーポレーション(分離)

※(統括)は建築・電気・設備を総合管理、(分離)はそれぞれの業種ごとに単独にて管理形態となる。

4 月 度 月 間 工 程 表

東北学大学泉キャンパス震災復旧工事

当 月 の 重 点 安 全 衛 生 目 標

所長

作成

作成日

訂正履歴

主 要 工 程	3 月			4 月																															
	日	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
各所タイル張替え工事						○			2号館タイル復旧			○	○		3号館タイル復旧			○		4号館タイル復旧			○		5号館タイル復旧		○		コミュニティセンタータイル復旧						
外部・内部足場架け			○			外部内部足場架け					○													○		外部足場解体		○		外部・内部足場解体		○			
各所硝子破損部復旧工事											○			○																					
各所硝子フロック復旧工事											○							○																	
各所天井・壁破損部復旧工事											○																	○							
各所EXP・J破損部復旧工事													○															○							
2号館1階床隆起部復旧工事										○			○																						
2号館2階手摺破損部復旧工事																												○							
3号館3階外壁破損部復旧工事												○								○															
各所給排水空調設備復旧工事						○																						○							
礼拝堂2階椅子腰板復旧							○						○																						
女子寮・男子寮復旧工事												○																			○				
週間重点安全衛生実施項目																																			

東北学院榴ヶ岡高等学校震災復旧工事

4 月 度 月 間 工 程 表

当 月 の 重 点 安 全 衛 生 目 標

所長

作成者	
-----	--

作成日

訂正履歷

主 要 工 程	3 月		4 月																														
	日	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	曜	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土
天井・壁復旧工事				音楽室		4 F 休憩室	3 F 保健室						塗装工事																				
建具復旧工事						1 F・4 F SD 扉調整																											
EXP・J 復旧工事													各所 EXP・J 復旧工事																				
階段前壁復旧工事						新・下地調整		左官補修								塗装工事																	
第 2 体育館天井復旧工事						電気器具復旧工事							天井グラスウール復旧工事																				
						ローリング足場組																											
図間重点安全衛生実施項目																																	



第 23 - A - 号

平成 23 年 4 月 日

東北学院大学教職員組合

執行委員長 ロング, クリストファー 殿

学校法人 東 北 学 院

理事長 平河内 健 治

「合意書」の解約について（申入れ）

「東日本大震災」に伴い、平成 23 年 3 月 23 日付にて合意しました「1. 出勤・退出時刻」並びに「2. 週休二日制（土曜日を休日）」に係る「合意書」について、本学の教育研究活動等の復旧の見通しが立ち、本来の業務体制に戻ることが可能になりましたので、平成 23 年 3 月 23 日付「合意書」の解約を申入れます。

つきましては、平成 23 年 4 月 25 日（月）より通常勤務（出勤時刻：午前 8 時 30 分、退出時刻：午後 5 時）とし、「4 週 6 休制」は 4 月 30 日（土）からとします。



第 23 - A - 号

平成 23 年 4 月 日

東北学院大学教職員組合

執行委員長 ロング, クリストファー 殿

学校法人 東 北 学 院

理事長 平河内 健 治

「休日の変更」について（提示）

標記の件について、「就業に関する協約」第 13 条（休日の変更）により、
本学の教育研究活動等を一日も早く回復してゆく措置の一環として、次のと
おり変更いたしたく、提示します。

記

1. 出勤日となる休日

平成 23 年 4 月 29 日（金） 「昭和の日」

就業に関する協約第 10 条第 1 項第 1 号（休日）による休日

2. 振替日

平成 23 年 5 月 2 日（月）

3. 事 由

3 月 11 日（金）に発生した「東日本大震災」によって「平成 23 年度学
事暦」が変更され、4 月 27 日（水）～30 日（土）に「新入生オリエン
テーション」が実施されることになったため



参考

協 定 書

学校法人東北学院と東北学院大学教職員組合は、東北学院大学就業に関する協約第13条(休日の変更)により、下記の事項について、次のとおり協定する。

記

1. 出勤日となる休日

平成23年4月29日(金) 「昭和の日」

就業に関する協約第10条第1項第1号(休日)による休日

2. 振替日

平成23年5月2日(月)

3. 事 由

3月11日(金)に発生した「東日本大震災」によって「平成23年度学事暦」が変更され、4月27日(水)～30日(土)に「新入生オリエンテーション」が実施されることになったため

平成23(2011)年 月 日

学校法人 東 北 学 院

理 事 長 平 河 内 健 治

東北学院大学教職員組合

執行委員長 ロング クリストファー



第 23－ A － 号

平成 23 年 4 月 日

東北学院大学教職員組合

執行委員長 ロング, クリストファー 殿

学校法人 東 北 学 院

理事長 平河内 健 治

「学会等に伴う旅費の支給」について（お知らせ）

平成 23 年 4 月 1 日付第 23-A-1 号にてお知らせしました「東北関東大震災からの復興に向けた基本方針」及び「平成 23 年度予算執行等に関する基本方針」をもとに、「平成 23 年度予算の削減・凍結と（暫定）補正予算の編成」を行います。その項目の中で、特に、今年度の標記「学会等に伴う旅費の支給」の取り扱いについては、下記のとおりといたしたくお知らせいたします。貴組合におかれましては、事情ご賢察の上、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

記

1. 学会（研究会を含む）の旅費及び資料収集の旅費を合わせて、年額 15 万円を限度とする。
2. 学会発表（研究会発表）の旅費は、年額 5 万円を限度とする。
3. 海外出張の航空運賃については、実費精算とする。



平成 23 年 4 月 日

東北学院中学校・高等学校

校長 永 井 英 司 殿

学校法人 東 北 学 院

理事長 平河内 健 治

「東日本大震災」に伴う教職員の手当等の取扱いについて（通知）

平成 23 年 3 月 11 日（金）に発生した「東日本大震災」に伴い、帰宅不可能となった生徒の保護業務に従事した教職員の手当等の取扱いについて、下記のとおり通知します。

記

1. 教 員

宿泊を伴い業務に従事した教員については、今回に限り、宮城県の特務手当の「甚大な非常災害」時の対応を踏まえ、(1) に (2) を加算し 6,400 円を支給する。

(1) 「東北学院中学校・高等学校ならびに東北学院榴ヶ岡高等学校旅費規程」中の「旅費一覧表（別表）」における「災害時等の緊急業務」の「特殊業務手当（3,200 円）」を支給する。

(2) 宮城県「職員の特殊勤務手当に関する条例（宮城県条例第 128 号）」第 26 条第 2 項第 1 号の「甚大な非常災害」時の対応に従い、上記 (1) に 100 分の 100 に相当する額を支給する。

※宮城県の特務手当に関する「甚大な非常災害」時の対応

被害が特に甚大な非常災害の際に心身に著しい負担を与える業務に従事した場合にあっては、当該額にその 100 分の 100 に相当する額を加算した額

2. 職 員

東北学院中学校・高等学校就業規則第 16 条による時間外勤務手当等の処理を行う。

(目的)

第 1 条 この規程は、東日本大震災により居住する家屋を全壊または半壊した専任の職員が自己の住居に使用する目的をもって家屋（付帯設備を含む。）の新築・購入又はその敷地の購入（造成を含む。）に必要な資金の貸付について定める。

(貸付の資格)

第 2 条 貸付を受けることのできる者は、専任の職員として 5 年以上在職し、次の各号に該当する者とする。

- (1) 返済の見込みが確実であること。
- (2) 新築又は購入しようとする家屋の取得が貸付を受けた時より 1 年以内に完了する見込みが確実であること。
- (3) 敷地取得の場合は 1 年以内に契約を完了し、敷地取得後 2 年以内に住宅建築が完了する見込みが確実であること。

(貸付額)

第 3 条 貸付額は申請時における東北学院退職手当支給規程により算出された額の 1.2 倍以内とし、その限度額は 500 万円とする。ただし、貸付額は 10 万円単位とする。

(利息)

第 4 条 貸付に伴う利息は、無利子とする。

(返済方法)

第 5 条 貸付金の返済方法は次の各号による。

- (1) 返済は平成 24 年 4 月からとする。
- (2) 貸付金の返済は貸付金額及び貸付期間に応じ毎月の給与から又は毎月の給与及び 6 月期・12 月期期末手当からの併用のいずれかによる。ただし、6 月期・12 月期期末手当による返済の総額は貸付額の 2 分の 1 以内とし、10 万円単位とする。

三 返済期間は、次のとおりとする。

貸付金額	返済期間
100 万円まで	3 年以内
200 万円まで	6 年以内
300 万円まで	9 年以内
400 万円まで	12 年以内
500 万円まで	15 年以内

2 貸付金の返済が終了しないうちに貸付を受けた者が退職又は死亡したときは未返済金を退職手当から控除する。

(申請手続)

第 6 条 貸付を受けようとする者は所定の申請書（様式 1）に必要事項を記入のうえ計画書・見積書等を添付し、庶務部庶務課（以下「庶務課」という。）に提出するものとする。

2 申請書の提出期限は、当分の間、毎月の末日とする。

第7条 委員会は理事長の付託を受け第6条による申請書類を審査し、その結果を理事長に報告する。

2 理事長は、前項の報告に基づき、決裁のうえ、その結果をすみやかに申請者に通知するものとする。

(借用証書)

第8条 貸付を受ける者は借用証書及び委任状(様式2)を庶務課に提出し、貸付金を受領するものとする。

(保証人)

第9条 保証人は成人に達した3親等以内の血族・2親等以内の姻族又は5年以上在職の専任職員から1名とする。

2 保証人が死亡又は退職したときは遅滞なく新たに保証人を定めて届出なければならない。

(報告書)

第10条 貸付を受けた者は家屋(付帯設備を含む。)の新築・購入又はその敷地の購入(造成を含む。)を完了したときは遅滞なく報告書(様式3)を庶務課に提出しなければならない。

(貸付の取消)

第11条 貸付を受けた者が故意に申請書記載事項のとおり実施しない場合は貸付を取り消す。

(規程の改廃)

第12条 この規程の改廃は、理事会が行う。

附則 この規程は、平成23年4月13日から施行する。

石巻～東北学院バス運行計画 (案)

- 運行日 平成23年4月25日(月)～5月31日(火)
平日(月～金)、4月30日(土)→中高授業開始日

■スケジュール

行き	JR 石巻駅前 6:30 → (三陸道) → →多賀城キャンパス 7:30 【JR 多賀城、国府多賀城駅連絡】 →東北学院中学・高等学校 8:00 【JR 小鶴新田駅連絡】
帰り	東北学院中学・高等学校 17:00 →多賀城キャンパス 17:30 → (三陸道) → →JR 石巻駅前 18:30

■バス仕様

45人乗り大型観光バス1台

■手配



■経費

1台1日あたり52,500円 + 高速(鳴瀬～仙台港北)3,900円
(高速は特大車 ETC 割引の往復料金)
= 56,400円(予定)
・24日間運行した場合 = @56,400×24=1,353,600円(概算)

■その他

- ・震災の影響で大型バスが各地に出回っているため、行きと帰りのバスが異なるバス会社の可能性あり。(表示を大きくし、対応する)

■予約・キャンセル料等

- ・4月下旬から各学校、企業送迎バス等(予約済)が動き出すので、早めに予約をいただきたい。予約が遅れるとバスの手配がつかない場合がある。
- ・契約期間前にバス運行を終了する場合は、残日数分、別途キャンセル料が必要。

地震による列車影響と運転見込みについて

東日本旅客鉄道株式会社仙台支社

(4月5日 12時更新)

3月11日に発生しました大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された地域の皆さま、その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

弊社といたしましては、被災地域の設備等について鋭意確認、点検を行い、一日でも早い復旧に向けて、引き続きグループ一体となり全力で取り組んでまいります。

■ 現在の運転状況

路線	区間	運転状況（予定）
山形新幹線	福島～新庄	福島～山形 4往復、山形～新庄 3往復 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
東北本線	安積永盛～郡山	13往復運転 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
	郡山～福島	概ね30分～1時間30分に1本程度運転 » 列車運転時刻はこちら (PDF) 4月7日（木）から通常の本数で運転いたしますが、時刻変更がありますのでご注意ください。 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
	岩沼～仙台	朝夕約15分間隔、その他20～30分間隔 » 列車運転時刻はこちら (PDF) 4月7日（木）から概ね10分～45分に1本程度で運転いたします。 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
	仙台～岩切	時間帯により1時間に2～4本程度運転 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
	岩切～松島	概ね20分～1時間10分に1本程度運転 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
	岩切～利府	時刻変更がありますのでご注意ください。 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
仙石線	あおば通～小鶴新田	※時間帯により1時間に2～7本程度運転 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
仙山線	仙台～愛子	時間帯により1時間に1～4本 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
	山寺～山形	9往復運転 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
奥羽本線	福島～米沢～及位（～青森）	通常ダイヤで運転
米坂線	米沢～今泉（～坂町）	通常ダイヤで運転
磐越東線	郡山～船引	8往復運転 » 列車運転時刻はこちら (PDF)

磐越西線	郡山～喜多方（～新津）	概ね1～2時間に1本程度運転 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
只見線	会津若松～会津坂下	朝2往復、夕2往復 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
左沢線	（山形～）北山形～左沢	通常ダイヤで運転
陸羽東線	小牛田～新庄	通常ダイヤで運転（1往復のみ運休*） *小牛田7：37発古川行、古川8：21発小牛田行
陸羽西線	新庄～余目	通常ダイヤで運転

» [列車運行情報はこちら](#)

今後の運転計画

現時点での運転再開の見込みは以下のとおりです。運転再開日・運転本数等は、決まり次第お知らせいたします。

（いずれも、暫定ダイヤで一部列車の運転となる見込みです）

路線	区間	運転再開時期（見込み）
東北新幹線	那須塩原～福島	4月12日（火）頃
	福島～一ノ関	4月下旬までには運転再開予定
東北本線	黒磯～安積永盛	4月中旬
	福島～岩沼	4月7日（木） 福島～白石間は通常ダイヤでの運転となります。 白石～岩沼間は概ね10分～45分に1本程度の運転となります。 » 列車運転時刻はこちら (PDF)
	松島～小牛田	4月9日（土）
	小牛田～花泉	4月中旬
常磐線	岩沼～亶理	4月12日（火）
	亶理～いわぎ	復旧の目処が立っておりません。 4月12日（火）より、亶理～相馬の代行バスの運行を開始する予定です。
仙山線	愛子～山寺	4月下旬
仙石線	小鶴新田～東塩釜	4月中旬
	東塩釜～石巻	復旧の目処が立っておりません。 4月5日（火）より、石巻～松島（東北本線）の代行バスを運行しております。
石巻線	小牛田～前谷地	4月中旬
	前谷地～女川	復旧の目処が立っておりません。 4月5日（火）より、石巻～小牛田の代行バスを運行しております。
気仙沼線	前谷地～気仙沼	復旧の目処が立っておりません。 4月9日（土）より、柳津～湍谷～小牛田の代行バスを運行す

図書館の復旧について

1. 復旧作業の到達点と課題

「中央図書館」

1F（開架）、2F（開架）、3F（閉架） 修復完了

4F（閉架） 修復作業中

M3（閉架）、M4（閉架） 書架に大きな損傷をうけており修理が必要

「中央分室」

1F（開架） 修復完了

2F（閉架）、3F（閉架）、4F（閉架） 手付かず

4F（閉架） 書架に損傷をうけており修理が必要

「泉キャンパス図書館」

1F（開架） 修復完了

2F（開架） 修復作業中 書架に大きな損傷をうけており修理が必要

B1（移動書架） 点検作業準備中

B2（閉架） 修復作業中

「多賀城キャンパス図書館」

1F、2F 修復完了

「保存書庫等」

損傷が軽微なため全体の修復作業の進捗状況をみて処理

2. 復旧計画

現在、設置業者の協力を得て、書架等の点検と修復計画を策定中。

早急に修理に取り掛かりたい。

図書等の整理・配架可能な部分から復旧作業を進めている。

5月9日までに3館の部分開館を行う。それまでは休館とする。

開架図書閲覧、閲覧席の利用、オンラインジャーナル・データベースの利用、
My Library の利用

なお、館外貸出、ILL、図書発注などは体制が出来次第開始とし、当面は休止
また、当分の間開館時間は短縮する。

3. 復旧作業

4月4日～8日 学生ボランティアの協力

職員の通常業務にとらわれず必要な力の集中を行う

新しい学務日程等について

1. 授業について

(1) 授業回数

- 授業回数 13 回確保を原則とする。
- 試験期間を設けない。
 - 授業内（あるいは補講）で筆記試験を行うことは問題ない
 - 筆記試験以外の方法（レポートなど）を利用し成績評価を行う
- 絶対に 15 回確保の必要となる授業科目（教職等）については個別対応する。

(2) 前期学事暦・授業日の変更点

- 授業開始：5 月 9 日（月）
 - ※ 創立記念式：午前休講、後援会総会：午後休講 → 変更なし
 - ※ 7 月 18 日（月）海の日：土曜日の振り替え授業 → 変更なし
 - ※ 7 月 30 日（土）オープンキャンパス → 変更なし
- 8 月 1 日（月）～6 日（土）の試験期間は通常授業
- 8 月 8 日（月）は通常授業
- 8 月 9 日（火）は土曜日の振り替え授業
- 8 月 10 日（水）から夏期休業

(3) 補講・代替措置

- 各教員には、単位認定に必要な学習時間を授業以外に確保するよう特段の配慮をするよう依頼する。
- 教室不足の問題もあり補講は特にすすめない。
- 補講を行う場合は、6・7 講時、土曜などの空き時間帯を利用する。

2. 授業開始までの学務行事について

(1) 日程

- 2～4 年生の成績発表・資料配付・学科ガイダンス
4 月 25 日（月）・26 日（火）
- 新入生オリエンテーション
4 月 27 日（水）～30 日（土）
- 編入学生・転学科生ガイダンス
4 月 22 日（金）
- 大学院のガイダンスは？
4 月 27 日（水）～30 日（土）
- 健康診断
1 年生 新入生オリエンテーション期間中
2～4 年生 4 月 25 日（月）～5 月 7 日（土）

お知らせ

(2) 場所

- 文・経済・経営・法・教養 : 土樋キャンパス
- 工 : 多賀城キャンパス

(3) プログラムの再構成

- 学生部で検討し、学部長に提示する。

(4) G主任会議・リーダーとの打合せ

- 4月19日(火) 土樋キャンパス 午前:委嘱状交付式 午後:打合せ

(5) 実施体制

- 学生部を中心としつつも、全学的支援体制が必要となる。(特に土樋)

(6) その他(報告)

他校との連携等

- ① 入学者の確定:入試部が4月15日(金)まで確定し、データを学生部に送る。
- ② リーダー研修:基本的には終わっているが、補充・再研修の必要がある。とくにウェブ履修登録方法の周知徹底が重要。
- ③ 通学手段の確保:仙石線(塩釜以東)については復興対策委員会で検討したい。

3. 周知・広報について

- (1) 4月6日(水)の部長会終了後、新入生・2~4年生・教職員に新日程を通知する。
- (2) 通知は郵送を原則としつつ、HP、プレスリリース(河北新報以外の東北各県の新聞にも)を補助として使う。
- (3) 新入生への周知は入試部が行う。(4月12日郵送)
- (4) 2~4年生と教員(非常勤を含む)への周知は学務部が行う。(4月15日郵送)
- (5) 職員への周知は課長会を通じて行う

4. 今後の手続きについて

- (1) この部長会で決定、学部教授会・全学教授会で事後承認。

＜参考1＞ 授業運営について（報告）

（1）授業再開に間に合わない教室・施設の確認

- 土樋：4号館・礼拝堂・（押川ホール）
- 泉：体育館
- 多賀城：基礎教育センター

（2）土樋4号館への対応

- 教室変更だけで対応できるかどうか現在調整中。
- 841、842だけでなく押川ホールを教室として使えと助かる。
- 401使用の授業は校時変更（6校時も含む）による対応もありうる。
- 「初夏さわやかオープンキャンパス」での教室使用は再考する必要がある。

（3）土樋礼拝堂

- 601でも対応できるが、押川ホールでもよいのでは？
→ 押川ホールの復旧は教室に準じる必要がある。

（4）泉体育館

- かなりの長期にわたって使用は難しい。
- 体育の授業、課外活動の計画を見直す必要がある。 → 急いで調整の必要

（5）多賀城基礎教育センター

- 教室を代えることで対応できそう（とのこと）

（6）通学手段の確保

- 地下鉄関連については泉キャンパスで検討中
- 仙石線（塩釜以東）については復興対策委員会で検討したい。

＜参考2＞ 学務関連日程のまとめ

- 4月 6日（水）：新入生、2～4年生への日程通知（HP・プレスリリース）
- 4月12日（火）：新入生への日程通知（郵送）
- 4月15日（金）：2～4年生への日程通知（郵送）、入学者確定
- 4月19日（火）：午前：G主任委嘱状交付式
10:00
：午後：G主任とオリエンテーション・リーダーとの打合せ
- 4月20日（水）・21日（木）：学部教授会
- 4月21日（木）：全学教授会、大学院委員会
- 4月22日（金）：編入学・転学科生ガイダンス
- 4月25日（月）・26日（火）：2～4年生成績発表
- 4月25日（月）～5月7日（土）：2～4年生健康診断
- 4月27日（水）～30日（土）：1年生オリエンテーション、大学院ガイダンス
- 5月 9日（月）：授業開始

新入生の皆さんへ ー大学の開始についてのお知らせー

震災による休校、入学式の中止と新入生の皆さんにはご心配・ご迷惑をかけましたが、大学が下記のとおり始まりますのでお知らせします。

1. 新入生オリエンテーション

◇ 新入生オリエンテーションとは

「新入生オリエンテーション」とは、大学生活を始めるにあたっての心がまえや注意事項・事務連絡を聞いたり、諸手続を行うためのものです。新入生は全員参加してください。やむを得ない事情により欠席する場合は、事前に入試部入試課まで（022－264－6455）連絡してください。

◇ 期間 4月27日（水）～30日（土） 午前9時30分～午後5時

※ 開始時間と終了時間は日・学部により多少異なります。

※ 4月29日「昭和の日」も午前・午後ともプログラムがあります。

◇ 場所

○ 文・経済・経営・法・教養の各学部 土樋キャンパス

○ 工学部 多賀城キャンパス

※ 文・経済・経営・法・教養の各学部のオリエンテーションは、授業が行われる泉キャンパスではなく土樋キャンパスですので、ご注意ください。

◇ より詳しい内容・関係資料は、4月12日（火）に郵送します。

2. 授業

◇ 授業開始日 5月9日（月）

※ 5月2日（火）は4月29日「昭和の日」の代休で休みとなります。

※ 5月6日（金）・7日（土）には授業は行いません。5月6日（金）には事務・窓口業務は土樋・多賀城キャンパスで通常どおり行います（泉キャンパスの事務は5月9日（月）から）。

◇ 授業が実施されるキャンパス

○ 文・経済・経営・法・教養の各学部 泉キャンパス

○ 文学部英文学科夜間主コース 土樋キャンパス

○ 工学部 多賀城キャンパス

◇ 授業に関する資料配布・説明・手続は、新入生オリエンテーションのなかで行います。

お問い合わせ：入試部入試課（022-264-6455）

学校法人東北学院復興支援金の募集について

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災によって被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。また、本学に対し、多くの皆様から激励のお言葉やご支援のお申し出をいただいております、心より御礼申し上げます。

こうした中で、皆様のお申し出に迅速にお応えできるよう復興支援金の受入れ窓口を設置いたしました。皆様からのご支援は被災した学生の修学支援や本学の教育環境の復旧などに大切にに使わせていただきます。

1. 復興支援金の申込み方法

申込みに必要な申込書一式を郵送でお送りいたします。こちらの電話、電子メールにてご連絡ください。

申込先

財務部財務課

電話 022-264-6467

E-mail: bokin@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

2. 復興支援金に対する減税・免税措置

学校法人東北学院復興支援金については、寄付金控除の対象になります。つきましては、手続きに必要な「受領書」及び「証明書」を後日お送りいたします。

東北関東大震災関連の復興支援金・支給義援金等の他大学の対応について

平成23年4月1日 現在

大学・法人名	学生支援関係の名称 目的 募集対象 寄付金控除の有無 配分先 期間	義援金関係の名称 目的 募集対象 寄付金控除の有無 配分先 期間	校友課関係の義援金の名称 目的 募集対象 寄付金控除の有無 配分先 期間
明治大学	明治大学被災学生支援義援金 明治大学学生（新入生を含む）の奨学金等 賛同者すべて 寄付金控除 有 明治大学学生（新入生を含む） 当面、半年程度	明治大学東北関東大震災被災者救援義援金 被災者救援 賛同者すべて 寄付金控除 有 日本赤十字社を通じて被災者へ 当面、半年程度	明治大学校友会東北関東大震災義援金 被災者救援 明治大学校友 寄付金控除 有 日本赤十字社を通じて被災者へ 平成23年3月25日～6月30日
早稲田大学	（緊急救援金） 早稲田大学学生（新入生を含む）の各種支援 賛同者すべて 寄付金控除 有 早稲田大学学生（新入生を含む） 平成23年3月24日～4月30日（予定）	（被災地域への義援金） 被災者救援 学生、教職員等 寄付金控除 なし 日本赤十字社を通じて被災者へ 平成23年3月24日～4月30日（銀行振り込み） 平成23年3月24日～4月23日（学内の受付箱）	早稲田大学校友会 東北地方太平洋沖地震救援金 被災者救援 早稲田大学校友 寄付金控除 なし 学生支援（半額）、校友支援（半額） 平成23年3月22日～9月30日（予定）
慶応義塾大学		慶応義塾東北地方太平洋沖地震義援金 被災者救援 卒業生、学生・保証人、教職員 寄付金控除 有 日本赤十字社を通じて被災者へ 平成23年3月17日～7月31日	
青山学院		東北地方太平洋沖地震義援金 在校生（新入生を含む）、学校同盟、教会等の支援 卒業生、学生・保証人、教職員（現金持参とゆうちょ振込） 寄付金控除 なし 在校生（新入生を含む）、学校同盟、教会等 平成23年3月22日～4月30日	
上智学院		東北地方太平洋沖地震被災者支援募金 被災者救援 卒業生、学生・保証人、教職員（銀行振込と募金箱） 寄付金控除 なし カリタス・ジャパンを通じて被災者へ 平成23年3月31日～	

東北学院大学職員の学生指導に係わる支出並びに学生への補助金支出に関する取扱基準

5 弔慰金	(在学生の死亡時)		香典
	学長弔辞		葬儀出席(学生部長・グループ主任・演習等担当者のうち1名とする)に際しては、出張願いにより旅費(規定により算出)を支給する。
	学長名の生花	時価	
	香典(大学)	20,000 円	
	課外活動団体部長 (顧問)香典(後援会)	5,000 円	なお、寄宿舍舎監、賄い人については、旅費および 5,000 円の香典を支出する。
	(在学生の父母死亡時)		
	香典(大学)	10,000 円	
	課外活動団体部長		
	(顧問)香典(後援会)	3,000 円	

6 見舞金	大学	10,000 円	学生の入院ならびに火災等の見舞いとして支出します。
	課外活動団体部長	5,000 円	
	(顧問)(後援会)		

平成 23 年 4 月 14 日

教職員各位

東北学院榴ヶ岡高等学校における東日本大震災に向けた基本方針

東北学院榴ヶ岡高等学校
校長 久能 隆 博

【教育研究経費・管理経費】

1. 合宿並びに練習試合等の県外出張は自粛すること。
2. 生徒を伴わない県外出張は自粛すること
3. 予算単位ごと予算総額の 10%を削減する。
4. 消耗品等の徹底した節減に努める。
5. 光熱水費の徹底した節減に努める。

【生徒支援】

1. 東日本大震災によって被災した生徒の経済的支援を積極的に行う。
2. 被災生徒に対する十分なメンタルケアを行う。

平成23年4月1日

予算単位責任者 各位

事務長 木村安博

平成23年度予算執行にあたっての留意点

1. 先の東北関東大震災による被災をうけ、東北学院理事会は「東北関東大震災からの復興に向けた基本方針」を決定し、平成23年度予算の一部を削減・凍結し復興財源に充当することになりました。これにより本校でも平成23年度予算の10%を削減・凍結し復興財源に充当することになりましたので、各予算単位におかれましても、趣旨ご理解の上、ご協力をいただきますようお願いいたします。具体的な件については、各予算単位ごとに後日調整をいたします。
2. 予算残高の確認
常に現在の予算の残高を確認の上、予算項番毎の予算金額を超過することのないようご注意ください。
3. 書類の添付
物品を注文し、納入されましたら、業者発行の学校宛の納品書及び請求書を予算執行届と共に、事務室決済箱に入れて下さい。
また、現金にて支払い済みの場合は、学校宛の領収書（日付・金額・購入物品名が明記されたもの）を添付して下さい。なお、昨今はレシートタイプの領収書が見受けられますが、感光紙のため年数が経つと文字が消えるなど、会計上の証拠書類として適さないため、可能な限り、通常の領収書（感光紙タイプ以外のもの）を作成してもらうようお願いします。
レシートタイプの領収書しか発行されない場合は、必ず購入物品名が明記されていることを確認して下さい。
4. 予算執行届の記入について
 - (1) 校費の場合
予算執行届の該当項目をすべて記入し、申請者が予算単位責任者の場合は本人の押印、それ以外の申請の場合は予算単位責任者の押印を会計担当欄に受けてから事務室に提出して下さい。
※特に以下の項目の未記入が目立ちます。
予算単位名、予算CD、業務CD、項目CD、科目CD、支出先名
 - (2) 校費外（生徒会・学年会費）の場合
校費に準じて記入願います。申請者はそれぞれの会計担当者へ提出して下さい。
なお、校費外のうち学年会費の場合、科目CDや支払科目（例えば副読本、実力テスト等）の未記入が多く見受けられますので、ご注意願います。
5. 備品の予算執行について
校費の予算の中で科目に用品費や機器備品として示達された予算を執行する場合は事前に事務室（担当：佐々木）にご相談下さい。
なお、消耗品の予算で1個または1組の価格が税込3万円の物品を購入することはできませんのでご注意ください。
6. 請求書提出の期限厳守について
業者への支払は3月期を除き、月末締め翌月払を原則としています。請求書が届きましたら、遅くとも翌月10日までに事務室に提出するようお願いいたします。特に学年会費関係のものは、退学者が出た場合、精算が出来ず、返金に支障をきたしますのでご注意ください。